

町政を問う

12月定例会での一般質問は、12月15日と16日に11人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の記事は、質問した議員の責任において作成したものです。

※ QRコードでそれぞれのようにすが視聴できます



じゃまものよ「とんで行け」



うへ山のきれいな棚田



見塚 修 議員

毎年降雪時は交通等不安がいっぱい。今冬期の対策は万全か何う。

降雪時の交通等インフラ確保対策は!! 除雪業者確保に年間公共事業発注も

- (1) 道路交通確保
- ① 奥佐津小学校登校路は消雪工の水が出ないが、
- ② 除雪業者の確保には夏場の公共事業の確保が必要では。
- (2) J Rの定時性確保
- (3) その他インフラの安全確保対策について



町長

(1)生活基盤の道路除雪は直営と33社への委託及び消雪工により、交通安全確保体制としています。奥小登校路は町単工事でもすべきと考えます。除雪業者確保については、年間を通じて公

- 共事業の発注対応をさせていただきます。
- (2) J Rは30 cm以上の積雪が見込まれる時、ラッセル車稼働を予定していますが、余部橋梁の関係で定時性確保は困難です。
- (3)水道事業は停電時の対応として、畑水系で配水池増強工事を実施し、今後は非常用発電設備を整備します。



東垣 典雄 議員

水田農業を守る新たな法人化を 新たな形態の担い手として期待



令和4年の水稲作付面積は451ヘクタール5年前より13・9%の減少となる。
農地の集約と継続した耕作を目指し農業法人化をすすめているが本年10月1日に施行された「労

働者協同組合法」による法人化をすすめてはどうか農業法人とは違う形ができるのではないか。
労働者協同組合は非営利が基本な考えであり兼業を主にした組織化により機械導入補助の対象に入れて水田を守っていく考えはないか。

労働者協同組合は持続可能で活力ある地域社会を実現するため出資、意見反映、労働が一体となった新たな法人形態で集落営農組織に代わる新たな担い手の一つとして期待します。
機械購入補助が目的の法人化でなく、農業を続けていくための組織化の思いがある対象者を増やす取り組みを検討します。